

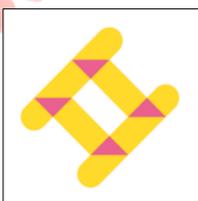
## 3大学合同記者会見を開催

4月3日、山口大学、山口県立大学、山口学芸大学の理事長、学長による合同記者会見が開かれました。やまぐち共創大学コンソーシアムが「大学等連携推進法人」に認定されたことを報告するとともに、3大学の学生6名による選考委員会でコンソーシアムのロゴマークを選定したこと、さらには、5月16日に「KDDI維新ホール」で開催するキックオフシンポジウムの概要を発表しました。

### 1. 大学等連携推進法人に認定

昨年12月に文部科学大臣に大学等連携推進法人認定の申請を行ったところですが、3月24日付けで認定されました。

「大学等連携推進法人」とは、複数の大学が人的・物的リソースの効果的共有及び教育研究機能の強化を図るために設置した一般社団法人に対して、文部科学省が基準に適合した団体を認定するものです。認定されると、他の大学と連携して開設した「連携開設科目」を、自ら開設する科目とみなされるなどの特例が与えられます。



### 2. 大学等連携推進法人「一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアム」のロゴマークが決定

ロゴマークは、漢字の「人」と、山口の頭文字「Y」をモチーフに、2つをつないで梯子をイメージしたシンボルマークです。3つの大学と地域との「連携」や事業の「発展」を表現しています。このロゴマークは、3大学の学生6名が選考会を開いて決めたものです。

選考会では、『『梯子』が45度傾いて、右肩上がりでステップアップする『発展』や架け橋となる『連携』を想起する。』『『梯子』が大学間を繋いでいくことも連想させる。』『4つの線が3大学と地域を表し、大学と地域が連携することを意味している』といった若者らしいポジティブな意見が出ました。

### 3. キックオフシンポジウムを開催

3大学で進める「ひとや地域（まち・文化・教育）の well-being に貢献する文系DX人材の育成」を多くの人々に知っていただくため、キックオフシンポジウムを開催します。

株式会社国際社会経済研究所の西岡満代氏、Quantum Analytics 合同会社CEOでデータサイエンティストの古屋俊和氏による基調講演のほか、3大学の卒業生、在校生が参加するパネルディスカッションを行います。オンライン参加もできますので、多くのご参加をお願いいたします。

- 1 日時：令和5年5月16日（火） 14:00～17:15
- 2 場所：KDDI維新ホール2階（山口市小郡令和一丁目1番1号）JR新山口駅 下車1分
- 3 内容：

- (1) 開会挨拶・来賓挨拶
- (2) 事業説明、概要報告、取組紹介
- (3) 基調講演

「社会が求める文系DX人材とともにパーパス都市経営で実現するWell-Beingの高いまち」

株式会社国際社会経済研究所 研究主幹 西岡 満代 氏

「未来を拓く！ ChatGPTと文系DX人材が地域活性化に革新をもたらす」

Quantum Analytics合同会社CEO、データサイエンティスト 古屋 俊和 氏

- (4) パネルディスカッション「文系DX人材って？～ひとやまちの豊かさのために～」

パネリスト：西岡 満代 氏、古屋 俊和 氏、卒業して2～3年の社会人、現役学生  
モデレーター：山口朝日放送 報道制作局 報道制作センター担当部長 瀧廣 祥子 氏



## 連携開設科目の試行がスタート



4月13日、連携開設科目「地域学」の試行がスタートしました。本学の「国際文化実践論」（履修者68名）の講義をZoomで山口大学に配信するものです。

山口大学では30人の学生が受講し、SPARC推進室の東(ひがし)特任教員(講師)が授業の開始前に学生に対して、授業の概要や今後の授業の進め方等を説明しました。

他大学から提供される科目を初めて受講することもあり、学生は熱心に本学からの配信授業に耳を傾けていました。県立学校から長期研修で教育学部に在籍している教員や、大学教員も授業の様子を見守っていました。

今年度は、この地域学/国際文化実践論のほか、後期の「DX概論」が連携開設科目の試行となります。

山口大学で開始された「地域学」の授業

2023.4.14 14:30～16:00 (本学授業は14:40～16:10)

## 「地域活性化人材育成事業～SPARC～」のウェブサイトを公開

一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアムでは、ウェブサイトを昨年12月に立ち上げました。この度3大学が取り組む「地域活性化人材育成事業～SPARC～」をより多くの方々に知っていただくため、3月末に事業を詳しく説明するサイトを公開しました。SPARC事業“人や地域の well being に貢献する「文系DX人材」を育成”の説明に加えて、各大学の取組も紹介しています。

<https://www.yamaguchi-sparc.jp/>



## SPARC教育プログラム関連機材の貸し出しを始めました

SPARC推進室では、SPARC教育プログラムに係る各授業の実施・運用に向けて、関連機材の貸し出しを始めました。授業で使用するだけでなく、学生も自主学習やPBLの発表などに向けて積極的に活用していただけます。詳しくは別紙をご覧ください。その他、PBL用でMac35台を配置しています。

＜主な貸し出し機材＞

デジタル一眼レフカメラ、ワイヤレスマイク、プロジェクター、ICレコーダー、電子黒板、キャプチャーボード、講義収録システム、大型ディスプレイ

### SPARC推進室 室員紹介②

東 宮史(ひがしみやふみ)特任教員 (講師)



はじめまして。SPARC推進室特任教員の東宮史です。SPARC事業では、主に地域学や高大接続タスクフォースに携わります。主に米国で過ごしましたが、18年間海外で生活してきました。帰国後は、民間の英語学校や高等教育機関で英語教育に携わって参りました。

私の研究テーマの一つは、協同学習です。学びは個人で完結することではなく、共に学ぶクラスメイト、教室、大学のある地域と繋がっています。そして、日々の学びがグローバルな視点で世界を感じることに楽しさに繋がれば、と取り組んでいます。そのことが、コミュニケーション手段の一つとしての英語を学ぶ動機づけになれば嬉しいです。私自身、海外生活を楽しみました。海外に出ることの魅力を、少しでも学生の皆さんに伝えることができれば、と思います。どうぞよろしくお願いいたします。

\* 2023年1月に着任した末本哲雄特任教員については、ニューズレターVol. 2で紹介しました。  
\* 3人の特任教員が学習支援（日本語ライティング、英語ライティング、コンピュータ、デザインサイエンス）を行います。

### SPARC推進室 室員紹介③

大高 光輝(おおたか こうき)特任教員 (講師)

SPARC推進室の大高 光輝です。2023年4月1日付で山口県立大学に着任しました。SPARC事業では学習管理システム（LMS）の管理業務や、コンピュータ・データサイエンス関連授業科目の補助や授業外での学習相談などに携わる予定です。着任前は、高等専門学校（高専）にて情報系科目や機械系科目の教育・研究・学生の生活指導・クラブ指導などに従事していました。これらの経験から、丁寧に接すること・分かりやすく伝えることを心がけながら、学生の皆さんの学習支援に努めていきたいと思えます。

また、デジタル技術によって生活やビジネスが日々変容している社会において、学生の皆さんが今後活躍していける人材へと育つよう、学習環境作り等に尽力したいと思います。よろしく申し上げます。



### 編集後記

新入学生を迎えて新しい年度がスタートしました。SPARC推進室にも新たなスタッフが加わり、常勤7名の所帯となりました。

また、今年度から連携開設科目の試行が始まり、本学の新2年生が山口大学の学生と一緒に「国際文化実践論」（山口大学の授業名は「地域学」）の授業を受けています。他大学の学生と一緒に授業を受けるといった「新しい形」が見え始めたことに、少しずつではありますが、事業が進んできたという実感を覚えています。

共同開設科目としては、3大学がそれぞれ取り組むPBL（本学では「プロジェクト演習」、「地域実習Ⅰ」「地域実習Ⅱ」）では、合同発表の実施に向けて検討が始まりました。徐々に進んでいくSPARC教育プログラムが、学生にとって、学びがいのあるものになっていくよう努力してまいります。